

明治三十三年五月八日第五回郵便物認可

(毎月三日六日九日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

# 縣報 第九十六號 明治三十五年六月十五日 和歌山縣

## ○公文

○和歌山縣令第九十三號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス  
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年六月十一日

和歌山縣知事 植 義 一 郡

一

海草郡山口村大字平岡

東

沖重次郡横小路以西

西

明渡久吉宅地通以東

南

明渡善次郡地通以北

北

通稱上地通以南

一 圖

○和歌山縣令第九十四號

明治三十年三月法律第三十六號傳染病豫防法第二條ニ依リ虎列拉疑似症ニ對シ今法ノ全部ヲ  
適用ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年六月十一日

和歌山縣知事 植 義 一 務

○和歌山縣令第九十五號

明治三十五年六月本縣令第八十六號ハ本日限リ廢止ス

明治三十五年六月十二日

和歌山縣令第九十五號參照

和歌山縣知事 傅 瑞 一 邦

明治三十五年六月本縣令第八十六號ハ炭疽發生ニ付牛馬羊豚ノ出入往來停止ノ件

○和歌山縣令第九十六號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ警防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ畿布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年六月十三日

和歌山縣知事 椿義一郎

一 海草郡川水村大字川邊

東 平松留次郎宅地通以西

西 井内由松宅地通以東

南 福田佐太夫横小路以北

北 井内由松方後小路以南

一 圖

○和歌山縣訓令甲第三十三號

郡役所  
町村役場

明治二十七年九月訓令第三百二十八號假蒙醫營渠區域并人員表中第一編海部郡トアルナ海草  
郡トシ其次ニ左ノ一項ヲ追加ス

明治三十五年六月十一日

和歌山縣知事 横堺一郎

郡名	管轄	業種	區域	職員
海草郡	西山原村	東山村	東山村	醫藥人員
	大野村	黒江村	興村	
		町	内村	
		日方町	海村	
			一村	
			人	

郡 警 察 分 市 警 察 所  
町 村 警 察 所

通知  
香港及清國廣東地方ニ於テ虎列拉病發生流行逞フシ漸次蔓延ノ兆アリ既又今回佐賀縣唐津町ニ於テ同病患者發生シ流行ノ兆アリ抑モ該病ハ從來ノ經歷ニ依レハ其特性トシテ初夏ノ候ヨリ炎暑ノ候ニ沙リ流行シ病勢猖獗チ極メ慘毒ヲ逞フルモノニシテ時恰モ流行ノ季節ニ際セルナ以テ此際充分ノ警戒ヲ加ヘサレハ何時如何ナル關係ヨリ病毒ノ侵入シ慘状ヲ逞スル哉モ難計該病ノ豫防ニ就テハ從來屢々訓述スル處アリト雖道回延似症ニ對シ豫防法ノ全部ヲ適用スヘキ旨發令シタルニ付テハ此際左ノ方法ニ依リ注意警戒ヲ加ヘ病毒ノ侵襲ヲ防クヘシ

明治三十五年六月十二日

和歌山縣知事 喬 務 一 郡

一虎列拉病流行地及發生地ヨリ來リタル船客旅人ニ對シ其健否ニ注意シ必要アルトキハ醫師監防委員ヲシテ檢診セシムルコト  
一吐瀉病若ヘ疑ハレキ病者アルトキハ其病者又ハ家人ノ交通セシ地方來歴ヲ調査シ必要アルトキハ醫師監防委員ヲシテ檢診セシムルコト

點報第九十六號

明治三十五年六月十五日 第二種簡便物認印 六

一病症鑑定ノ爲細菌検査ノ必要ヲ認ムルトキハ醫師ヲシテ検査ニ供スヘキ物体ヲ採取セシメ同時ニ警察局ニ急報スルコト

一清潔法ノ持續及飲食物ノ注意等ヲ一般ニ普及セシムルコト



筆記試験終リタルトキハ翌日受験人扣所へ合格者ノ姓名ヲ掲示ズヘシ

第十條 口述試験ハ試験委員ノ列席ヲ以テ受験人一名毎ニ試問シ即時答辨ヲナサシムヘシ

第十一條 受験人ハ答案毎ニ番號ノミテ記シ姓名ヲ掲クヘカラス

答案ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ記載スヘシ

第十二條 受験人ハ其ノ試験中ハ總テ試験委員ノ指揮コ從ヒ諱諱ニスヘシ若シ其ノ指揮コ從ハサルカ又ハ試験委員ニ於テ他ノ妨碍トナルヘキ見込アルモノハ即時退場ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條 試験人ハ試験問題ニ付試験委員ニ質問スルコトヲ得ス

第十四條 試験ハ筆記試験ト口述試験ヲ區別シテ其合格不合格ヲ定ムルモノトス

筆記口述試験トモ各科目ノ定點數ナ十點トシ其ノ得點平均六點以上ヲ合格トシ其ノ未滿

ヲ不合格トス一科目ノ得點四點以下ノモノハ不合格トス

第十五條 各科目ノ成績ハ試験委員總員ノ評定スル所ニ依ル可否相半スルトキハ試験委員

長之ヲ決定スヘシ

第十六條 試験委員長ハ試験ヲ終リタル後五日以内ニ試験成績表ヲ調製シ合格證書ヲ付與ス

第十七條 受験人試験ノ日時ニ出席セヌ既ニ出席シタルモ試験時間中退室シタルトキハ當期イ試験ヲ受タルコトヲ得ス

縣報第九十六號 明治三十五年六月十五日 第三種免便物認可 八

第壹號書式 試験 (用紙美濃紙)

族籍戸主又ハ何某長二三男  
兄弟等ノ別職業

氏

生年月日

私儀官國幣社神職尋常試験相受度別紙履歴書等相添此段奉願候也

年月日

現住所

名印

官國幣社神職尋常試験委員長宛  
前書之通相違無之候也

年月日

履歴書

(用紙美濃紙)

同府縣華士族平民

氏

生年月日

本籍

一 何府縣何國何郡市何町村何番戸主又ハ何某男弟伯叔父等

現住所

一 何府縣何國何郡市何町村何番地(何某方寄留)

學事

一 何年何月ヨリ何地某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル

所修ノ學科大略何々

一 何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入リ何學科ヲ修業ニ何年何月卒業ス其ノ證書

ノ寫別紙ノ如シ修業何年何月間ニシテ其學科ハ何々

一 何年何月何地何學校何々ニ於テ何々ノ試験ヲ受ケ及第ス其ノ證書若クハ免許狀ノ

寫別紙ノ如シ受驗學科ハ何々

職業

一 何年何月何地官公私立何學何科教員トナリ教授ニ從事シ何年何月解職其ノ間何々

ヲ兼勤シ何々ノ事務ニ從事ス以上辭令左ノ如シ

此所ニ辭令ノ全文ヲ各通トモ掲記スヘシ又私立學校等ニテ辭令ノナキモノハ之

ヲ省キ其ノ辞給等ヲ本文ニ詳記スヘシ

一 何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何年何月マテ何々ノ事務ニ從事シ何年何月辭職免

官又ハ轉任以上ノ辭令左ノ如シ辭令全文ヲ掲ク

縣報第九十六號 明治三十五年六月十五日 第二種郵便物認可 九

一 何年何月ヨリ何地何會社ニ歴ヘレ(俸給月何圓)何々ノ業務ニ從事シ何年何月ニ至  
テ解雇其間俸給ノ增加何回最終俸給月何圓

一 何年何月ヨリ何年何月マテ何業ニ從事ス

一 何年何月ヨリ何々ノ著譯ニ從事シ何年何月ニ至ル其ノ著譯スル所ノ書名左ノ如シ  
著譯書名ヲ掲ク但詳書ハ其原名ヲモ記スヘシ

賞

一 何年何月ニ於テ何々事由ノ爲メ賞ヲ受ク其ノ辭令左ノ如シ

一 辞令全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ受賞ノ事由ヲ詳記スヘシ

一 何年何月何地ニ於テ何々事由ノ爲メ罰ヲ受ク

一 著合アルモノハ各其ノ全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ其事由ヲ詳記シ又裁判所ノ宣告書ハ其ノ要領ヲ記スヘシ

總テ罰ハ其ノ受罰ノ日數過料罰金ノ額等ヲ記スヘシ

破産等ノ有無

一 何年何月何地ニ於テ破産若クハ家財分散ノ宣告ヲ受ケタルモ何年何月何日復權ス  
(破産又ハ家財分散ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ)

一 何年何月何日身代限リノ處分ヲ受ケタルモ何年何月何日債務ノ辨償ヲ終フ(身代  
限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ)

一 何年何月何日河地ニ於テ禁治產又ハ準禁治產ノ宣告ヲ受ケタルモ何年何月何日何

々ノ申請ニ依リ解除セラレタル露其ノ要領ヲ記スヘシ（禁治產又ハ準禁治產ノ宣告ナシケタルコトナシ）

△右ノ處分ニ件裁判所ノ申渡ヲ詳記スヘシ

右ノ通リ相違無之候也

年月日

右姓名印

履歴書ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ認ムヘシ又△印ノ所ヘ朱ニテ認ムヘシ

○和歌山縣告第百五十九號

縣下海草郡川永村大字川邊井内由松飼牛一頭本月十一日炭疽ニ罹リ同十二日斃死セリ

明治三十五年六月十三日 和歌山縣知事 橋 藤 一 那

○町村長助役ノ異動

○和歌山縣指令内第三三九五號ノ一

明治三十五年六月五日稟請媚内柴三郎ヲ海草郡川永村長ニ選舉ノ件

右町村制第五十九條ニ依リ之ヲ認可ス

明治三十五年六月十二日

○和歌山縣指令内第一三三九六號ノ一

縣報第九十六號

明治三十五年六月十五日 第二種燃便物認可

十

明治二十五年六月五日稟請二輪換八郎ヲ海草郡川永村助役ニ選舉ノ件  
右町村制第五十九條ニ依リ之ヲ認可ス  
明治三十五年六月十二日

### ○観測

明治三十五年六月十日～十三日間當地氣象概況

裡 頻 六 月 十 日 六 月 十 一 日 六 月 十 二 日

平均氣壓

七百五十六毫○

最高氣溫

二十二度○

最低氣溫

二十二度二

平均氣溫

廿五度七

均風速

廿六度五

雪量

十七度三

雨量

十七度八

雪

十七度五

事

三米三

晴天

南西

平均風向

三米六

晴天

平均風力

二米二

晴天

氣壓

北

午後五時二十五分沿

午前十時三十五分沿

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

(明治三十五年六月十五日印製  
明治三十五年六月十四日發行)

〔金券代價〕

和歌山縣

印製人

和歌山市中村通番丁十三番地  
和歌山市十二番丁十三番地  
和歌山市印製部

縣報第九十六號

明治三十五年六月十五日

第三種郵便物認可

十一終

海不穩ノ警報到着

海不穩ノ警戒ヲ解